

KIJIMA Takao  
木島 隆夫

静謐の精祈・諸法実相考「塔」2022-8

127×159cm

水彩紙・シルクスクリーン・コラージュ

water paper, screen print, collage

- 2022～1999 埼玉県版画家協会展  
(埼玉県立近代美術館、他)
- 2022～1989 モダンアート展(東京都美術館)
- 2021～2004 CAFネビュラ展  
(埼玉県立近代美術館)
- 2021～1995 日本版画協会展(東京都美術館)
- 2020～1985 個展(八木橋、STAGE-1、  
養清堂画廊、  
ギャラリーかなやま、他)
- 2022-1989 Modern Art Exhibition  
(Tokyo Metropolitan Art Museum)
- 2021-2004 CAF Nebula  
(The Museum of Modern Art, Saitama)
- 2020-1985 Solo Exhibition  
(Yagihashi, STAGE-1,  
Yoseido Gallery,  
Gallery Kanayama, etc.)



M・アレクサンダーは、ヨーロッパの塔を、人間の無限上昇の垂直志向としてとらえ、キリスト教思想と関連しながらその精神的存在を見出した。一方、仏教伽藍の重要な堂宇「塔」を、梅原猛は地上に安定しようとする横線文化の表象とみる。東西の塔をテーマに「諸法実相」考を試みた。



UENO Tomoko  
植野 智子

残る気配

Stay Sign

270×270cm

ミクストメディア、版画(インスタレーション)

MIXED MEDIA

- 2022 個展(OギャラリーUP・S/銀座)  
CAFネビュラ展(埼玉県立近代美術館)  
VISITED VOICE  
(両国アートトレイスギャラリー)  
現在進行形野外展(原峰公園/多摩市)  
CAF.N金沢展  
(金沢21世紀美術館市民ギャラリー)
- 2022 Solo Exhibition  
(O Gallery UP・S / Ginza, Tokyo)  
CAF Nebula  
(The Museum of Modern Art, Saitama)  
VISITED VOICE  
(ART TRACE Gallery / Ryogoku, Tokyo)  
GENZAI SHINKŌKEI Openair Exhibition  
(Tokyo)  
CAF.N in Kanazawa (21st Century Museum  
of Contemporary Art, Kanazawa)

過ぎていく時間、変わっていく状況の中で記憶に残るシーンや気配、空気の匂いで思い出した感情等を、私達は日々、心の引出から出し入れしている